

常任委員会の審査から

※分科会や委員会の質疑内容等は、委員会記録をご覧ください。また、本会議での賛否の状況は、12、13面の議決結果をご覧ください。
なお、財政総務、文教市民、健康福祉常任委員会には付託案件はありません。

付託案件

- 議案第66号 一般会計補正予算(第4号)**
危機管理センター設置に伴う災害対応オペレーションシステムの導入費用など、2億5,248万円の増額補正
- 議案第79号 一般会計補正予算(第5号)**
就学前児童を養育する世帯への子育て世帯支援金の支給に係る費用など、20億927万円の増額補正

予算常任委員会には予算案2件が付託されました。
付託案件および主な審査内容・結果は、次のとおりです。

予算常任委員会
〔審査案件〕
予算関係の議案

議案第66号 一般会計補正予算(第4号)



〈主な内容〉

- | | |
|---|---|
| <p>○防災対策事業 1億1,993万円
危機管理センター設置に伴う災害対応オペレーションシステムの導入費用</p> <p>○妊娠・出産包括支援事業 2,481万円
妊産婦を対象に、家事代行等サービスに利用できる電子クーポン(2万円分)を交付</p> <p>○母子健診事業 552万円
子どもの弱視等視力異常の早期発見および視力検査の精度向上を目的とした、視力屈折検査機器の導入費用</p> | <p>○家庭児童相談事業 1,220万円
家事・育児に対し不安等を抱えた要支援家庭やヤングケアラーがいる家庭等を対象に家事・育児支援を実施</p> |
|---|---|



〈反対意見の概要〉

- 危機管理センターについては、本委員会質疑に対する答弁が不十分であり、説明不足である。説明不足を理由に取り下げた前回の2月定例会と同様に、今回も取り下げるべきである。精査や検討が十分になされないまま拙速に決めることによる市民への影響は看過できないため、本案に反対する。

〈その他の意見の概要〉

- 健康福祉分科会に提案された予算は必要な予算であることから、定例会最終日まで、危機管理センターに係る予算が適正に改善されることを求め、採決には加わず、退席する。

議案第79号 一般会計補正予算(第5号)

全員賛成で
承認

〈内容〉

○就学前児童子育て世帯支援金事業 12億5,053万円

就学前児童を養育する世帯への子育て世帯支援金の支給に係る費用

○商工振興事業 7億5,874万円

市内中小企業を対象店舗として実施するキャッシュレス決済ポイント還元に係る経費



〈賛成意見の概要〉

○商工振興事業におけるキャッシュレス決済ポイント還元事業について、効果を十分に発揮できるよう周知を行い、消費喚起による中小企業支援の充実を図ること。対象とならない事業者へ不公平感のない制度となるよう、事業運用の工夫に努めることを求める。また、支援の余地があるとの判断が可能であれば、新たな支援策などの検討も求め、本案に賛成する。



教えて！議会のこと

「会議原則」

民主的に、また円滑に議事を運営するため、議会には「会議原則」と呼ばれるさまざまなルールがあります。今回は主なものを紹介します。

会議公開の原則

会議(本会議)を原則として、公開することをいいます。

定足数の原則

特別な場合を除き、議員定数の半数(本市議会の場合は18人)以上が出席しなければ、会議を開くことができないことをいいます。

過半数議決の原則

特別な場合を除き、出席議員(議長を除く)の過半数で、議案の賛成または反対を決めることをいいます。

一事不再議の原則

同一会期中に一度議決された議案について、再度議決しないことをいいます。

会期不継続の原則

定例会や臨時会の会期はそれぞれ独立しており、その会期中に議決に至らなかった議案は、会期終了とともに、審議未了、廃案となり、次の会期には継続しないことをいいます。